

地域づくり助成

RTK研究会

RTK研究会は、地域づくり助成事業の一環で「GNSS測位」などの精度を検証する。GNSS測位の測位検証と中山間・離島での衛星測位の活用を図るもので、第一工科大学（田中龍児自然環境工学科教授）と協力して行う予定。9月下旬までの期間に種子島の坂下工業（西之表市）にRTK基準局を設けて実施し、その結果を10月、ワークショップで発表する方針だ。

衛星測位の利活用へ

事業は、県建設技術センターが建設行政の課題に関する研究や活動を行う団体を支援するもの。2021年度は、ほかに県造園建設業協会や鹿児島大学が選定されている。

同研究会のテーマは、「GNSS測位の測位検証と中山間・離島での活用」。ローコスト「RTK-GNSS」の精度を日本版GPS「みちびき」のサービスCLASSと比較することで、利便性の検証や災害緊急時の活用方法を検討する。また、九州で初めて第一工科大学が民間等電子基準点として国土地理院に登録されたことから、そのノウハウを取り入れながらより一層県内での普及拡大に努めていく考えだ。

同研究会の石澤直樹技術員は「取得した位置情報はICT建機などに使用でき、生産性向上にも期待が寄せられている。夢のある技術を広く伝えていきたい」と話した。

なお、ワークショップは10月19日午前9時30分から、鹿児島市の県建設センターで開催予定。